

山梨県ミニバスケットボール連盟

コートキーパーマニュアル



1、コートキーパーの仕事について

バスケットボールの試合中、選手が汗をかいてコートが滑りやすくなります。競技のスムーズな運営や選手の安全確保のため、コートキーパーは大変重要な仕事です。また、コートキーパーは、選手同様、多くの観客からも見られているので、さわやかで迅速な行動も必要です。日頃から、各チームにおいて、コートキーパーマニュアルを読んで練習ゲームや大会等で実践していただきたいと思います。ぜひ、各チームでしっかりと練習してください。

2、仕事内容

- ① 1コート4名又は2名で担当する。
- ② 試合開始前(1分前)、 の間にコート全面のモップがけを行う。
第1Qと第2Qの間、ハーフタイム、第3Qと第4Qの間、タイムアウトの時に、スリーポイント内側のモップがけを行う。
- ③ 選手が転倒したときなど、雑巾で汗を拭く。

3、用具

- ① コートキーパーマニュアル
- ② モップ4本
- ③ 雑巾3枚(ボール拭き用1枚をTO席に用意)

4、モップの手順

・ゲーム開始の場合

それぞれのサイドスローインライン(TOの反対側)に4人が走って(モップは持ち上げない)集合しチーム側に向かって礼をする。その後、それぞれエンドライン側とハーフコート側(別紙参考)に向かってモップがけする。ふき終わったらベンチ側を向き一礼(全員そろって)してイスに戻る。モップが2本しか用意できない場合はハーフコートで一礼してエンドラインに向かってモップをかける。時間がないのでできるだけ急いで走ってモップをかける。(別紙参考)

・ピリオド間、タイムアウト間、ハーフタイムの場合

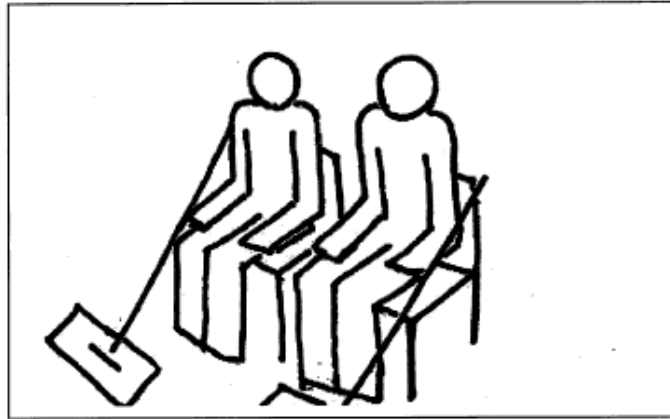
エンドライン中央(別紙を参考)に2人が中央に立って礼をする。その後それぞれのサイドライン側(別紙参考)に向かってスリーポイントライン内側をモップがけする。拭き終わったらコート内側を向いて全員でそろって一礼をする。モップが2本しか用意できない場合はサイドライン(エンドライン側からベンチ側に向かって立つ)に立って一礼する。その後、スリーポイントラインの内側をモップがけする。(別紙参考)

- ※モップは50秒以内で行います。残り10秒で選手がコートに入ってきます。
- ※モップは体重をかけながらできるだけ急いでモップをかける。(別紙を参考)
- ※礼をするときは全員でそろってする。

コートキーパーの図解

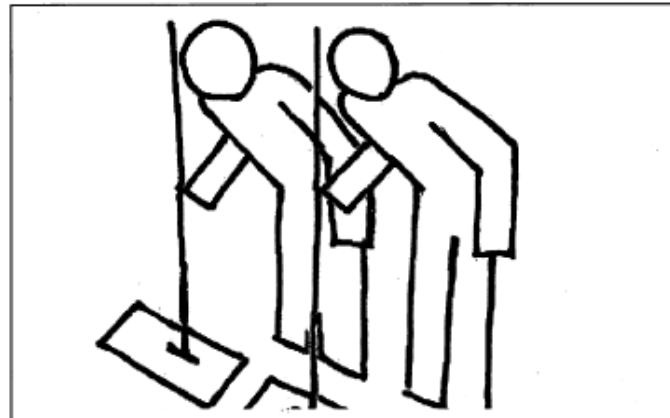
1. 座り方(試合が終わるまでしっかりとした態度もキープ)

※おしゃべりで仕事が遅れないようにする。コートキーパーも見られています。



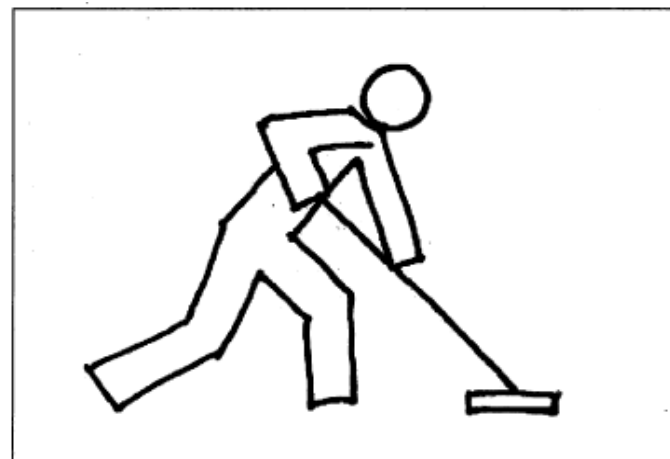
2. 挨拶(挨拶は試合にさわやかさやマナーを広めます)

※そろって挨拶ができるようにしましょう。コートキーパーもチームワークです。



3. モップがけの姿勢(モップに体重をかけ、走って行動します)

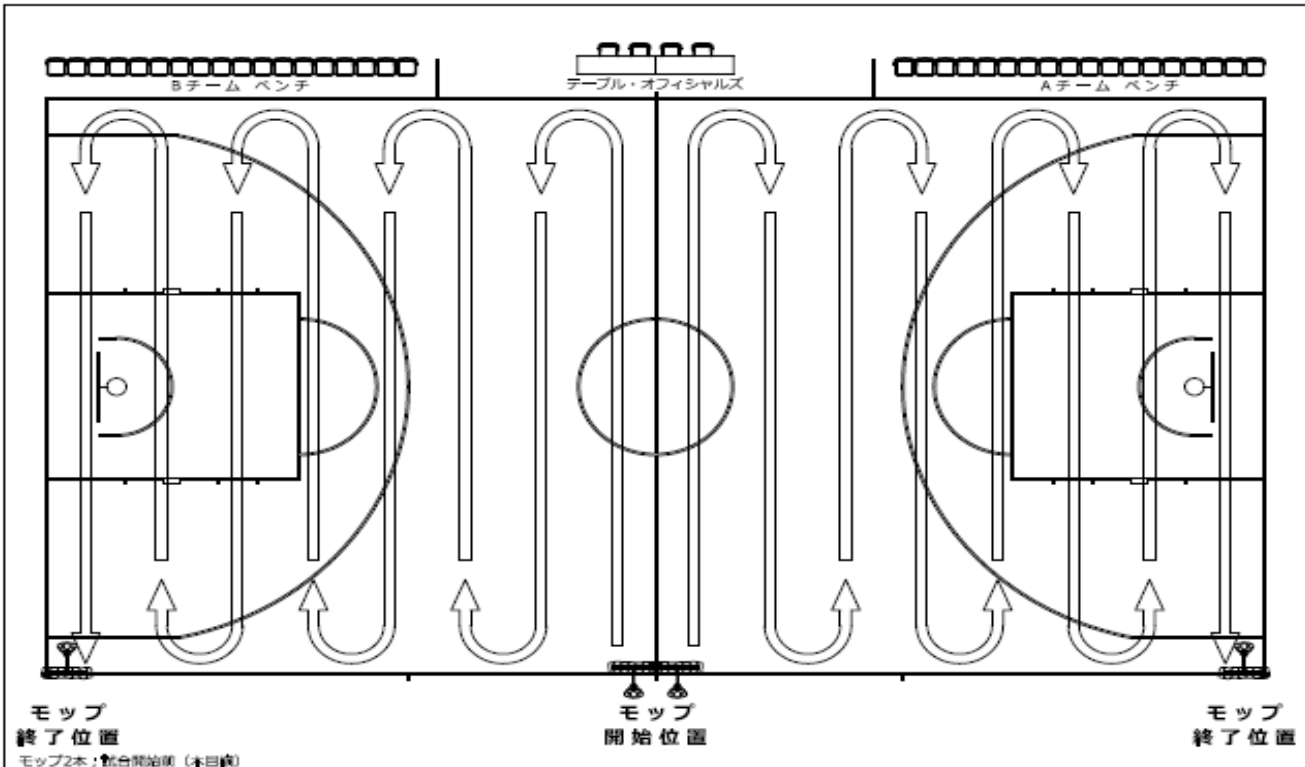
※モップにゴミがたまっていたら試合前に掃除をしておきましょう。



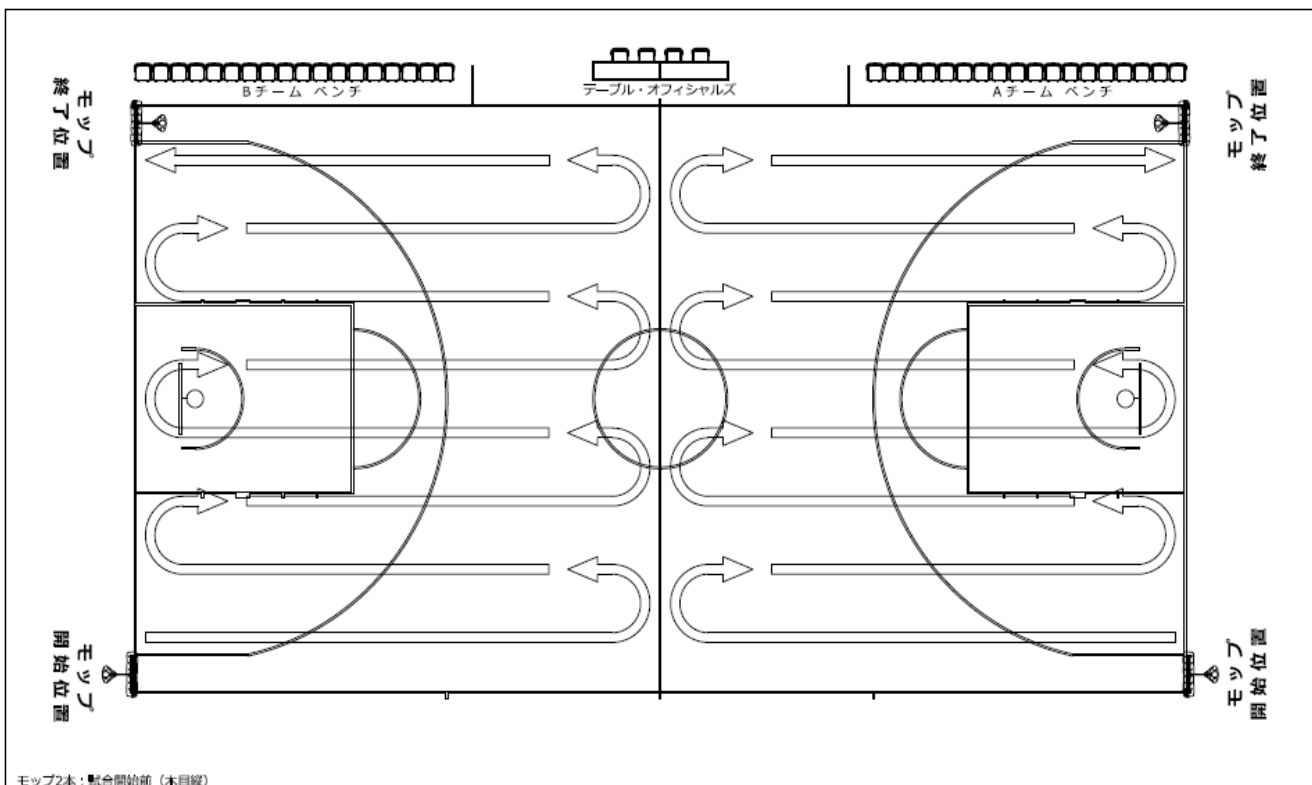
モップがけの動き (モップ2本の場合)

①試合開始前

木目横

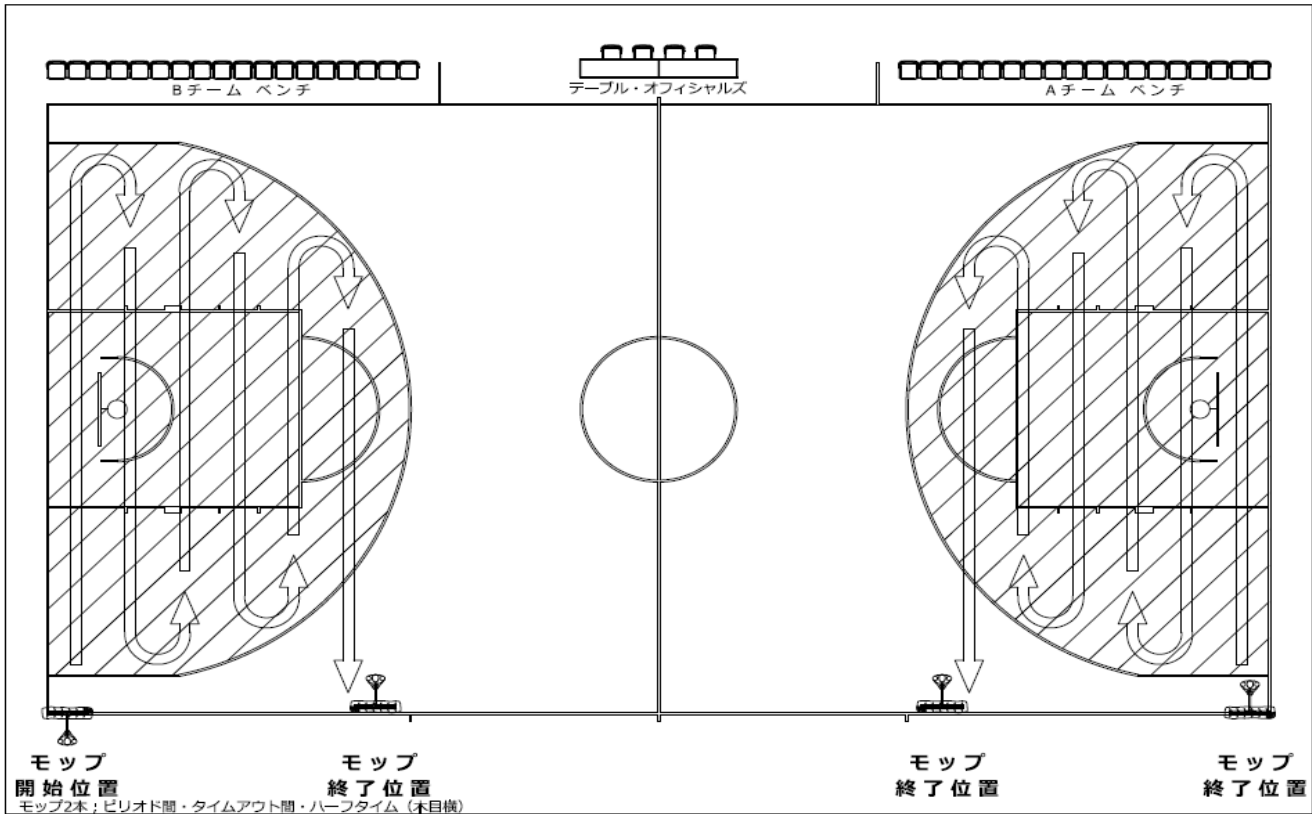


木目縦

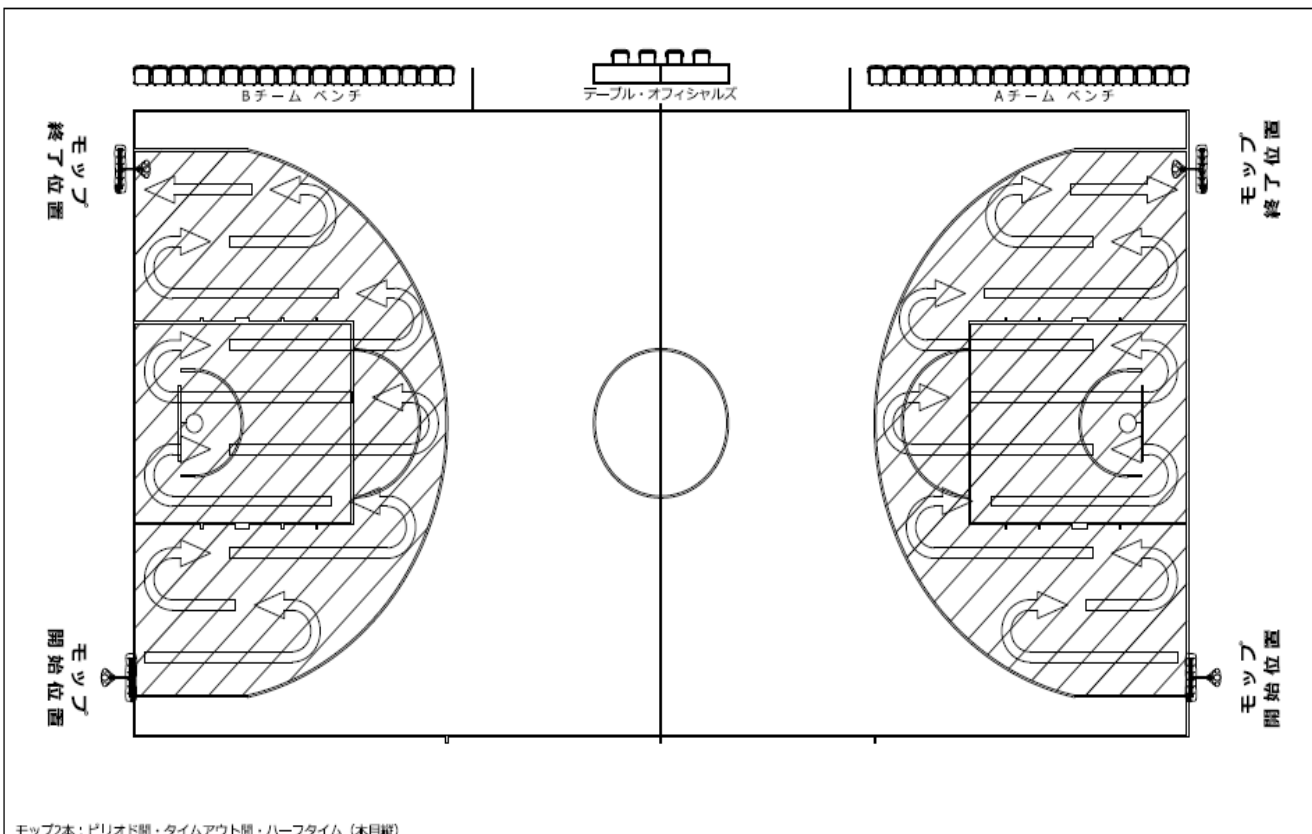


②ピリオド間、タイムアウト間、ハーフタイムの場合

木目横



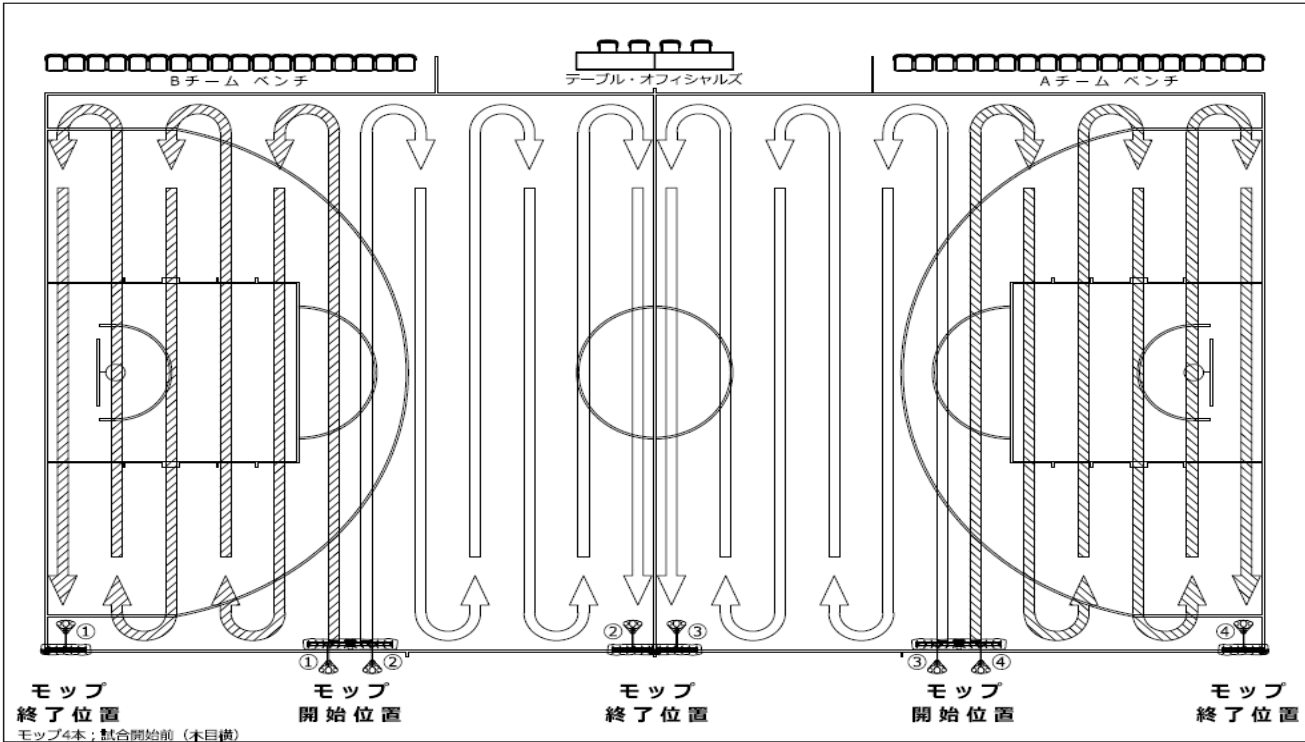
木目縦



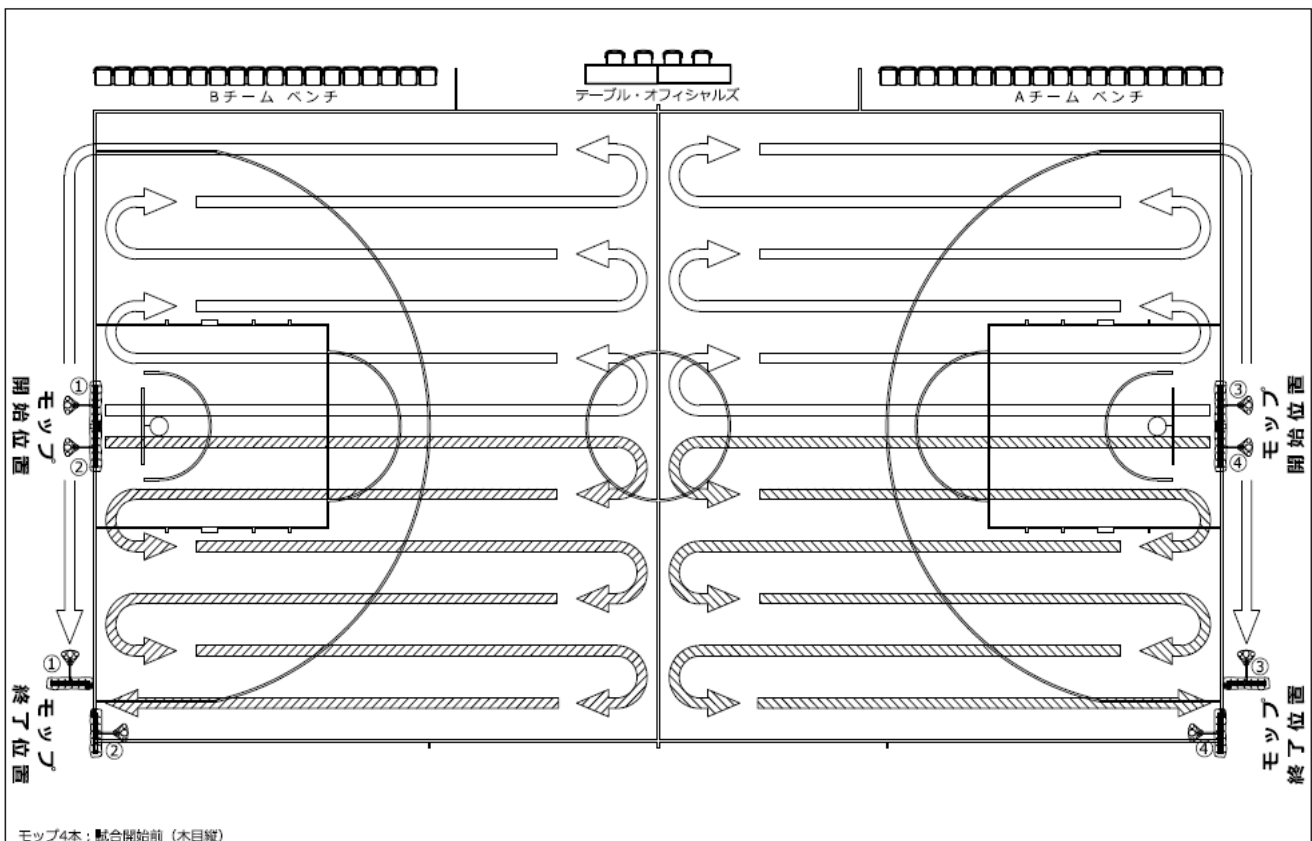
モップがけの動き (モップ4本の場合)

試合開始前

木目横

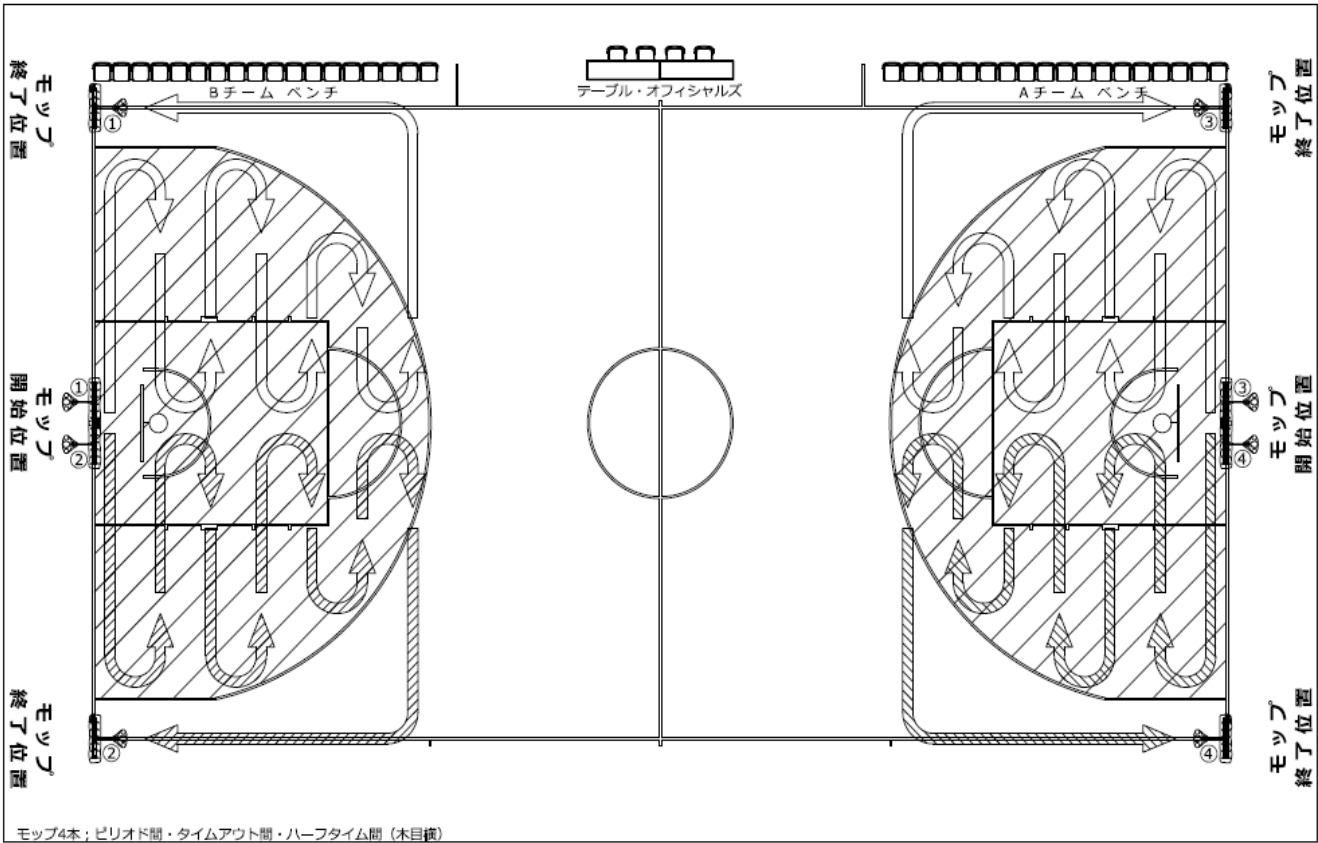


木目縦



②ピリオド間、タイムアウト間、ハーフタイムの場合

木目横



木目縦

